

八丈島フォーラム2014

テーマ

島に求める新天地

～この島に魅了された人々と
共に創るコミュニティ～

プログラム

13:00～17:00

◇八丈島が癒やしの島になるために

井上佳子（日本ピワ温圧療法師
八丈島ハーバルクラブ主宰）

◇移住者と地元住民でつくる共同売店 —沖縄の伝統を基礎にした新しい地域づくり—

宮城能彦（沖縄大学）

◇豊島：経済優先社会が破壊した国立公園を島 人と市民が取り戻す—豊かな島と海を次の世代へ—

伴場一昭（NPO法人瀬戸内オリーブ基金）

経済発展や物質的な豊かさがもてはやされていた時代、山間過疎地や島嶼地域は、自然は豊かであっても遠隔、不便などの生活環境が強調され、一般的には好意的な評価に乏しかったと思われます。しかし、例えば、スローライフやグリーンツーリズムが人気を集め、注目されるまでに人々の価値観が転換してくると、評価にも変化が現れてきたようです。

こうした地域に生まれた人々が、ふるさとの良さを再評価して都会から戻ってきたり、豊かな自然の下で自給自足的に暮らしたり、趣味や生きがいを大切にした生き方ができる場を求める人たちが、あちらこちらから山間過疎地や島嶼地域に向かい始めているようです。長くその土地で暮らしてきた人々に教えを受け、助けられながら、自分たちの知識や技術も伝え、巧みに一緒に生きていこうと手探りする新参者とそれを受け入れる側の人々による新たなコミュニティ創造の動きが各地の山間過疎地や島嶼地域に広まりつつあります。

このような取り組みには、どんな特徴や課題、可能性が秘められているのでしょうか。八丈島を舞台に掘り下げてみたいと思います。関心をお持ちの皆さんのご来場を心よりお待ちしております。



平成26年 8月30日 土

七島信用組合八丈島支店 2階

13:00～17:00 ※参加費無料

お問合せ：090-7018-5281（土屋）
090-2539-8755（立柳）

主催：島嶼コミュニティ学会
後援：一般社団法人八丈島観光協会
事務局：福島県立医科大学立柳研究室
〒900-1295 福島市光が丘1番地